

JPNICにおける ポリシー実装状況の報告

第39回 JPNICオープンポリシーミーティング(2020/11/30)

報告内容

- JPOPM38以降に実装勧告を受けた提案への対応
- APNICミーティングでコンセンサスとなった提案への対応
- APNIC50で議論された”PDP/SIGガイドラインの改訂”について

JPOPM37以降に実装勧告を受けた提案

提案番号	提案名	JPNICでのステータス
037-01	コンセンサスに至らなかった 提案の扱いの明確化	2020年7月30日 施行

提案内容：

「**JPNICにおけるIPアドレスポリシー策定プロセス**」に継続議論に関する規定を設ける

改定部分：

4.1.5. 一次コンセンサス

→継続議論と判断された提案は、翌々回のJPOPMまでの間、IP-USERSメーリングリストで議論を行う旨を追加

4.2. ポリシー提案の棄却

→継続議論と判断され、翌々回のJPOPMまでの間にIP-USERSメーリングリストで議論されなかった提案を棄却とする旨を追加

提案への対応：

提案内容を反映した「**JPNICにおけるIPアドレスポリシー策定プロセス**」を2020年6月30日公開、7月30日施行済

APNICミーティングでコンセンサスとなった提案

提案番号	提案名	JPNICでのステータス
prop-131	IPv6ポリシーの編集上の変更	2020年7月30日 施行

提案内容：

エンドユーザへの割り当てサイズに関する記述を、現在の状況に合わせて修正する

改定部分：

5.5.1. 割り当てアドレス空間のサイズ

5.5.2. 単一のエンドサイトに対する複数の/48の割り当て

5.9.1. 小規模マルチホーム割り当て

→エンドサイトへの割り当ての際には、1サブネットを/64として、サブネット数に応じて割り当てサイズを決定する旨に修正する

提案への対応：

コンセンサス内容を反映した「**JPNICにおけるIPv6アドレス割り振りおよび割り当てポリシー**」を2020年6月30日公開、7月30日施行済

APNIC50(2020/9/7~10)

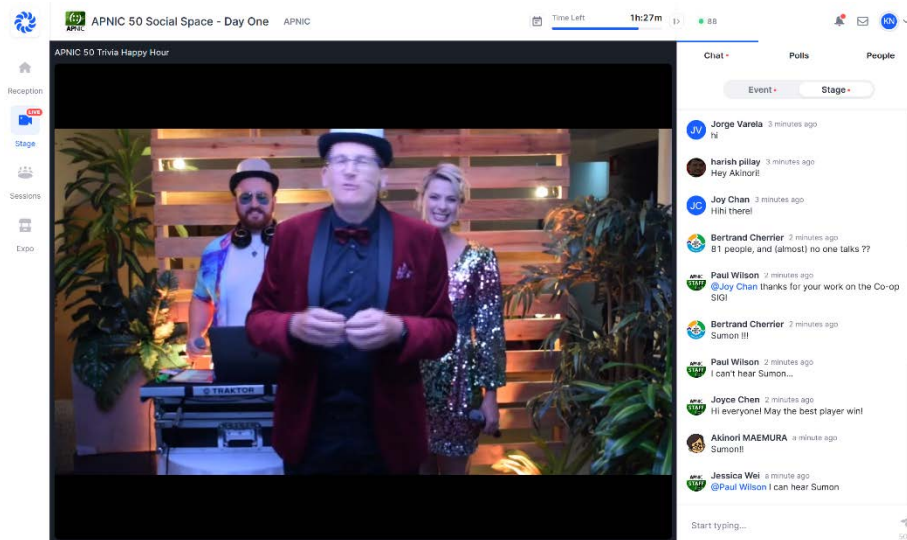
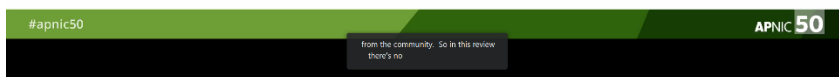
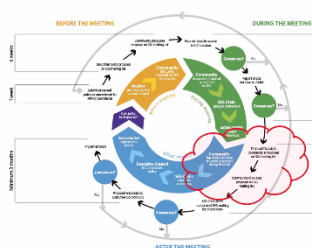


当初バングラデシュ・ダッカでの開催を予定していたがオンラインでの変更で開催。(ツールはZoom・YouTube Liveを使用)
世界48カ国、473名が参加



Comment Period vs Last Call

- Community proposals to rename the 'Comment Period' to 'Last Call' [appendix 1]
 - A simple name change would be purely editorial
 - Amendments would represent a change in policy
 - No change recommended as this does not align with current practice
- The phrase "substantial objections" is used in the PDP description
 - Recommended to bring it into line with SIG Guidelines "major objections"



APNIC50でのPolicy SIGについて

- APNIC50でのポリシー提案は無し。
- (継続議論となっているprop-130,133は提案者がAPNICリージョン外のため、今回不参加)
- ポリシーSIGチェアやAPNIC理事会(APNIC EC)からの要望で進められてきたPDP・SIGガイドラインの見直しが中心議題になった。

10/30

APNIC Policy Development Process Community Consultation
⇒30名弱参加。意見募集が行われた。

PDP and SIG Guidelines Review①

- 文書内で使用される各種用語の統一

Original Name (used in current documents)	New Name (used in proposal)
OPM / Open Policy Meeting	APNIC Conference
AMM	AGM/AMM
(Policy) SIG session / meeting	Open Policy Meeting (OPM) – for Policy SIG
(Other) SIG session / meeting	SIG meeting

PDP and SIG Guidelines Review②

- PDPへの参加資格について

(旧)誰でもミーティングに参加すれば議論・意思決定に参加できる

(新) 1)アジア太平洋地域の番号資源管理に関心のある者
2)事務局スタッフはコンセンサス確認からは除外する
3)リモート参加者は「挙手」で意思表示できる

⇒1)で「関心のある者」としてしまうのは立場を制限せず、誰もが参加できるはずのPDPと反するものにならないか懸念される。

PDP and SIG Guidelines Review③

- **メーリングリスト・オンラインでの「挙手」をコンセンサス形成に含める**

⇒これまでもJPOPFが集約した意見をメーリングリストに投稿し、SIGチェアが読み上げることでコンセンサス形成に影響する等してきた。これを明文化するもの。

- **SIGチェア選挙に関する変更**

- リモートでの投票を追加(BigPulseを使用予定)
- 投票資格の付与条件を、次の2点を満たす場合に変更
 - 1)カンファレンスへの参加登録
 - 2)当該SIGメーリングリストへの参加

⇒オンライン開催への対応。APNIC50 でのNRO NC選挙と同様の形式

PDP and SIG Guidelines Review④

- “General Agreement”→“Rough Consensus”へ文言変更

⇒prop-134で提言されていた変更。提案者の狙いはIETFで用いられる表現に統一することで分かりやすくすること。APNIC事務局はAPNICのPDPでも“Rough Consensus”で機能させることは可能と予想している。一方でニュアンスの違いによる影響がでないか、そのリスクに伴ってまで変更する必要があるかが懸念される。

(prop-134はAPNIC49でコンセンサスに至らず、廃案に。)

PDP and SIG Guidelines Review⑤

- **提案の取り下げ、廃案についての変更**

- 再提案するポリシーに、コミュニティからのフィードバックを反映することを明文化
- 3回のオープンポリシーミーティングでの議論を経てもコンセンサスを得られない場合は、廃案となる旨を明文化

⇒これまでも慣習的に行われてきた事項を明文化するものなので影響は少ない。(JPポリシーとの調整は生じる可能性アリ)

PDP and SIG Guidelines Review⑥

その他のトピック

- “Comment Period”→“Last Call”へ変更

⇒prop-124で提言。変更の必要性で共感られず、廃案に。
現行の慣習とも不適合の為、APNIC事務局は変更非推奨

- アピールプロセスの導入

⇒prop-124で提言。現行プロセス内でも提案者がチェアの決定に異議を唱えることができる手順となっているとし、変更は推奨しない。

- AMMでのコンセンサス確認廃止

⇒万が一の際のセーフティネット機能として継続すべき

APNIC SIG Guidelines Community Consultation

SIGガイドラインの見直しに関する意見募集としてオンラインミーティングが行われます。

日時：2020年12月4日(金)12:00~(日本時間)

※登録は12/2(水)まで!

登録は以下よりお願いします

<https://www.apnic.net/community/participate/sigs/community-consultation/>

- <https://blog.nic.ad.jp/>
- IPアドレスに関する記事も掲載しています
 - RIRでのポリシー提案
 - 統計情報
 - 移転関連情報
 - IPv6関連情報
 - Etc...



トップ JPNICブログとそご利用について

< 前

次 >

RIPE 81がオンラインで開催されます

ip_team 2020年10月22日 IPアドレス・インターネットの歴史 他組織のイベント

2020年10月27日(火)～30日(金)の日程で、RIPE 81ミーティングが開催されます。RIPE NCC (Reseaux IP Europeens Network Coordination Centre)は、世界に五つある地域インターネットレジストリ(RIR; Regional Internet Registry)のうち、ヨーロッパおよび中東地域を担当するRIRです。

前回のRIPE 80ミーティングに引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインでの開催が予定されています。前回はオンライン会議システムのZoomを利用して開催されましたが、今回よりMeetechoというプラットフォームが採用されています。IETF (Internet Engineering Task Force)では以前から使用されていたようですが、使い勝手がどのように変わるかも注目したいと思います。参加方法は従来同様RIPE 81ミーティングのWebサイトより参加登録を行うと、ログイン用のユニークURLが送られてくるようになっています。

RIPE 81 Webサイト



APNIC (Asia Pacific Network Information Centre)地域と同様に、RIPE NCC地域においても、IPアドレス・AS番号の分配ポリシーに関する議論は、メーリングリストのほか、オフラインミーティングの場でも行われ

Google カスタム検索 Google検索

2020年9月のアクセス数Top 5

1. JPNIC公式YouTubeチャンネルに初心者向けの学習コンテンツを公開 2020年9月18日
2. 注意! 2019年2月から主要DNSサーバーソフトウェアの挙動が変わります 2018年7月10日
3. News & Views コラム: Peering とわたし 2020年9月2日
4. EPDP Phase 2 最終報告書の提示する、WHOIS非開示情報へのアクセスシステム(SSAD) 2020年9月7日
5. 1.1.1.1 を DNS over HTTPS で試す 2018年4月27日

カテゴリ

- Internet Week
- IPアドレス
- JPNICからのお知らせ
- JPNICについて
- JPNICのイベント
- アクセス数Top 10
- インターネットガバナンス
- インターネットの技術
- コラム
- ドメイン名
- 他組織からのお知らせ
- 他組織のイベント

アーカイブ